

電子写真機戀愛

第三夜

フルサイズより軽快感、ミラーレスより本気感。ニコンD500。

これがどれくらいスゴイことか
 といえば電気を消した薄暗い室内の光量がISO4000絞りF5.6で約1秒のシャッター速度なのです。三脚必須です。
 しかしISO1640000ではシャッター速度は1/3200になります。まるで暗視スコープですわな。実際の映像も暗視スコープみたくるので緊急用が特殊撮影用途に限定のザラザラ具合ですが。そのかわり常用最高ISO感度51200での画質はおそろしくキレイに写ります。ちよっとこれまでの努力を否定されたような気持ちになって一杯やりたくなくなるくらいキレイな高感度です。ヒック。さらにAFがまたスゴい。画面一杯のAFポイントは153点ですべてが位相差センサーという圧巻。これは最上位機種D5と同じAFシステムでオートフォーカスを制御する専用エンジンまで搭載している徹底ぶり、おじさんはいつマニュアルフォーカスを使えばいいのだからか……もう一杯くれ。ほかにモノコック構造やXQDカードとSSDカードのデュアルスロットの安心感、驚きの10コマ/秒の連写性能に20万回の耐久シャッター、視野率約100%の光学ファインダーとレリーズタイムラグは約0.05秒はフラッグシップのたしなみ、スという感じで最強感に満ち溢れ威風堂々のD500。
 無骨精強なだけでなくチルト操作が可能な大型3.2型の背面モニターはタッチ操作が可能になり、NFC対応のWi-Fi、Bluetoothも内蔵し4k 30pの動画も記録可能になり、より使いやすく動画性能も充実。別売りの

こんな写真に恋をする



トキナー／AT-X14-20mm F2 PRO DX

F2という超広角ズームとは思えない単焦点レンズ並みの開放絞り値を持つAT-X14-20mm F2 PRO DX。もちろんその開放F値を活かしフォーカス部分とボケの立体感のあるレンズ描写を楽しむのもよし、ぐっと絞りで画面隅々までカッチリとシャープに結像する描写性能を楽しむのもよし。優れた性能を持った良くできたレンズであります。

トキナー／AT-X14-20mm F2 PRO DX

価格12万9600円

【撮影データ】

絞りf5.6

シャッター速度1/400

撮影モード絞り優先オート(+0.3)

感度ISO100

◎ケンコー・トキナー

☎03-6840-0244



ニコン／AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR

フラッグシップ機種とはいえ、やはりAPS-C一眼であるがゆえ、少しは軽さとコンパクトさと取り回しのしやすさといった利便性に甘えたいし、多少は気軽に使いたい。しかしF2.8通しのズームレンズはド級に重い。そこである程度の明るさと取り回しのしやすいサイズを兼ね備えたこの16-80mm f/2.8-4E ED VR。ナノクリスタルコートで描写よし、手ブレ補正アリ、割と軽量ながら24ミリから120ミリの広範囲をカバーします。



ニコン／AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR

価格13万5000円

【撮影データ】

絞りf2.2

シャッター速度1/250

撮影モード絞り優先オート(+0.3)

感度ISO320



写真と文 織本知之

こないだのGW、うぎー滞滞でした。みなさん、エンジンオイルを交換したかGW? そっちは洗滞の重態から充電スタンドのコンセントぶっ壊した、キ自動車のおかげでなすすべもなく腕組みする家族連れと目が合いましたのデス……俺、しばらくハイオクにて助弁。

本気の証。

普及機とフラッグシップの差というのは撮った写真より撮る瞬間に感じるものなんです。それをもっとも強く感じるのがシャッターの感触。D500はレリーズタイムラグを約0.05秒としており、触れたら即キレの実にキレイやすい一瞬です。またAF微調整機能など真実撮影機能も充実した本気の塊。



高さあどっちが
 ヨー度で
 ー感どっちが
 ー度で



このサイズの写真ではパッと見てどちらが超高感度写真かわからないと思います。撮った私ですら取っ替えなように注意を払いました。それなのに写真を入れ間違えたようです……ほら、もうどちらがどっちかわからなくなりましたね。答えはD500にて確かめください。

こんなレンズに恋をする

絞り開放F2という明るさを誇るトキナーAT-X14-20mm F2 PRO DX。SDレンズ2枚、非球面レンズ3枚使用したゴージャスなレンズ構成で、開放からきっちりシャープな描写性能と逆光時でもフレアーやゴーストなどが出にくい真面目なレンズでございます。



ニコン D500



有効2088万画素CMOSセンサー
 ニコンDXフォーマット
 ISO100~51200
 連写最高約10コマ毎秒
 3.2型約236万ドット上下チルト式背面液晶
 本体寸法(約)幅145×高さ115×厚み81mm
 価格オープン(ボディ実勢26万円前後/
 16-80VRレンズキット実勢34万円前後)
 ◎ニコンカスタマーサポートセンター
 ☎0570-02-8000

にんげん、上を見るときりがないんだな。

というのはそろそろ不惑を迎えようとする男ならびに淑女なら薄々気が付くころではありませんか? 上と下に挟まれ、責任重く境遇冷やか、トイレに入れば壁に張られた日めくりカレンダーの「身の丈を知れ」なんて言葉もチラついて、ため息のひとつふたつ。

デジタル一眼もまた上には上役フルサイズ取締役連中が幅を利かせ下からは新進気鋭の若手ミラーレスの突き上げ厳しく、昨今のデジタル一眼の礎を築いたAPS-Cサイズ一眼への冷遇に目を覆いたくなるこの現状。歴史の立役者への不遇、なんとかしてやりたいものだと常々考えておりました。

ところが、この春ニコンがおよそ7年ぶりにAPS-Cサイズフォーマットのフラッグシップを発表したのでございます! もはや心配なぞ杞憂。前作D3000/D3000Sから格段に進歩しすぎてスペック性能をくくくへよつとしたのですが前作がなんか気の毒で見られないくらいの進歩強化したのでございます。

そう、過去を忘れて未来へ踏み出そうではありませんか。D500に搭載された2088万画素のロバレスAPS-Cサイズ記録素子に組み合わされる映像エンジンはEXPEED5に進化しました。これにより常用ISO感度は100から51200としながら、感度拡張することにより低感度ISO50相当から超高感度側もISO1640000相当にアップ。ISOヒヤクワジユウヨマンです。いまアナタ、一瞬思いました。ばくも誤植だと一瞬思いました。

マルチバッテリーパックを使用すれば単三電池8本でも撮影が可能になるという緊急事態への対応対策も完璧。ちよっと隙の見当たらないデジタル一眼なのでございます。合わせるレンズはバランスの良いAF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VRなどどうでしょう。ワイド側F2.8のレンズとしては軽量で重量バランスに優れ、シャッター速度にして約4段分の手ブレ補正を備え、DXニッコールとして初めてナノクリスタルコートに施された意欲的な標準ズームなのであります。レンズフードも存在感たっぷりサイズでこのセットを構える人々は「あ、カメラマンさんが撮ってる」となり、クライアントは「お、カメラマンさんがキめてくれたね」と安心できるそんな仕様になっています。

これと同時に「タワリの本を携えておくのが一通。プロの間でも一目置かれるトキナーAT-X14-20mmはどつでしょう?」35ミリ換算約21mmから30mmか。地味だな」と早合点するなれ。あとに続くはF2.2 PRO DXです。その開放F値が「F2.2」なのです! 単焦点並みの明るさなのです! それでいてズーム! 隅から隅まで良質のガラスがみっちり詰まって約735gの充実感。開放F2の魅力を活かした立体的な描写に逆光に強く極めてシャープな画質。一度でも撮ると伝わるこの魅力。ボディの軽快さと画質の重厚感ほどよいバランスのAPS-C一眼最強機種として惜しげもなく注がれたニコンの技術。圧倒的に進化した性能を備えたDXフォーマット機最強D500、この夏の相棒はコレにて決定と存じます。